



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月28日

上場会社名 神戸電鉄株式会社

上場取引所 東

コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,769	△16.0	126	△91.7	△124	—	△156	—
2020年3月期第2四半期	11,623	△0.2	1,513	2.8	1,226	△2.7	1,032	10.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △125百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 1,012百万円 (3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△19.43	—
2020年3月期第2四半期	128.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	90,761	19,313	21.3
2020年3月期	92,800	19,441	20.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 19,313百万円 2020年3月期 19,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,348	△10.6	508	△75.6	20	△98.7	△97	—	△12.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年10月28日）に公表いたしました「2021年3月期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	8,061,566株	2020年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	22,964株	2020年3月期	24,556株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	8,037,565株	2020年3月期2Q	8,038,289株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 運輸成績	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた経済活動が再開したものの、その後の回復ペースは緩やかであり、依然として厳しい状況で推移しました。

この間当社グループにおいては、各部門において新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら増収やコストの削減に努めたものの、外出自粛等に伴う鉄道・バス・タクシーの利用者の大幅な減少や、運輸業以外の事業においても営業時間の短縮や臨時休業を実施したこと等により、当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は9,769百万円（前年同期比16.0%減）となり、営業利益は126百万円（前年同期比91.7%減）となり、経常損失は124百万円（前年同期は経常利益1,226百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は156百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,032百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、「鉄道軌道安全輸送設備等整備事業」等の補助を活用しながら、軌道の強化、法面の補強等の工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、大池駅において下りホームに改札口および多機能トイレを新設するバリアフリー化工事を進めております。

コロナ禍における列車の運行については、係員のマスク着用や、車内換気、車両・駅施設の消毒等、感染予防策を実施したうえで通常運行を継続しました。また、2020年6月1日の北神急行電鉄北神線の市営化に伴い、神戸市営地下鉄北神線の運行等の業務を受託し、円滑な業務運営に努めております。

営業活動については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、企画ハイキングの開催休止や、一部企画乗車券の発売休止等を余儀なくされるとともに、外出自粛等に伴い利用者は大幅に減少しました。しかしながら、開催を見合わせておりました企画ハイキングを、感染予防策を実施したうえで2020年9月より一部再開したほか、北神急行電鉄北神線の市営化を記念して、神戸市交通局と連携した「神戸電鉄×神戸市交通局 おでかけ乗車券」を8月に発売し、ご好評をいただいております。引き続き、駅を中心としたまちづくりが推進されることにより人口定着や鉄道の利用促進が図られるよう沿線自治体と連携した取組を進めてまいります。

なお、バス事業及びタクシー業においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛に伴い利用者は大幅に減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の運輸業の営業収益は5,094百万円（前年同期比24.3%減）となり、営業損失は362百万円（前年同期は営業利益964百万円）となりました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致を進めるとともに、新たに月極駐車場を開設するなど、収益の拡大を図りました。

また、神戸市他から「神戸市ものづくり工場(神戸市兵庫区)」等の施設の管理を受託し、円滑な運営に努めております。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間の不動産業の営業収益は962百万円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益は479百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

流 通 業

食品スーパー業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、「食のインフラ」として、地域のお客様への食料品の安定的な供給に努めました。

コンビニ業においては、新型コロナウイルス感染症による鉄道旅客減少の影響を受ける厳しい状況のなか、各店舗で増収に努めました。

飲食業においては、営業時間の短縮やイートインコーナーを一時閉鎖したものの、持ち帰り需要が増加するなど順調に推移しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の流通業の営業収益は3,085百万円（前年同期比2.4%増）となり、営業利益は31百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めましたが、一部の事業で、行政からの休業要請による臨時休業の実施等により利用者は減少しました。

建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

しかしながら、当第2四半期連結累計期間のその他の営業収益は1,201百万円（前年同期比14.7%減）となり、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益63百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ2,039百万円減少の90,761百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、買掛金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ1,911百万円減少の71,447百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い、利益剰余金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ127百万円減少の19,313百万円となり、自己資本比率は21.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大が当社グループに与える影響を合理的に算定することが困難であるため未定としておりましたが、現時点において入手可能な情報および最近の状況等を踏まえ業績予想を公表することといたしました。

なお、今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症状況の推移については予断を許さないものの、再度の緊急事態宣言の発出等により社会的制限が実施されないことを前提としておりますが、新しい生活様式を踏まえた企業や個人の行動の変化や、各種イベントの中止、オンラインによる教育等、移動機会の減少に伴う影響は、当連結会計年度末以降も継続するものと仮定し、業績予想を算定しました。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177	1,035
受取手形及び売掛金	873	863
短期貸付金	70	55
販売土地及び建物	363	363
商品	117	115
貯蔵品	430	475
その他	2,126	1,037
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	5,157	3,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,137	42,537
機械装置及び運搬具(純額)	5,997	5,758
土地	34,695	34,691
建設仮勘定	455	541
その他(純額)	409	385
有形固定資産合計	84,696	83,915
無形固定資産		
その他	625	585
無形固定資産合計	625	585
投資その他の資産		
投資有価証券	957	919
長期貸付金	480	460
繰延税金資産	65	33
退職給付に係る資産	455	552
その他	379	367
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	2,320	2,315
固定資産合計	87,642	86,816
資産合計	92,800	90,761
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,241	924
短期借入金	25,884	24,828
未払法人税等	155	64
前受金	515	889
賞与引当金	49	58
ポイント引当金	11	10
その他	2,712	2,628
流動負債合計	32,570	29,406
固定負債		
長期借入金	34,741	36,186
再評価に係る繰延税金負債	3,471	3,471
退職給付に係る負債	108	111
長期末払金	571	445
長期預り保証金	932	924
その他	962	901
固定負債合計	40,788	42,040
負債合計	73,358	71,447

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	6,314	6,158
自己株式	△79	△82
株主資本合計	17,945	17,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99	121
繰延ヘッジ損益	2	2
土地再評価差額金	1,500	1,500
退職給付に係る調整累計額	△105	△97
その他の包括利益累計額合計	1,496	1,526
純資産合計	19,441	19,313
負債純資産合計	92,800	90,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益	11,623	9,769
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,805	8,358
販売費及び一般管理費	1,304	1,284
営業費合計	10,109	9,642
営業利益	1,513	126
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	15
雇用調整助成金	—	100
雑収入	41	33
営業外収益合計	57	149
営業外費用		
支払利息	330	309
雑支出	13	91
営業外費用合計	344	400
経常利益又は経常損失(△)	1,226	△124
特別利益		
工事負担金等受入額	2	21
特別利益合計	2	21
特別損失		
工事負担金等圧縮額	2	21
その他	6	—
特別損失合計	9	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,219	△124
法人税、住民税及び事業税	155	8
法人税等調整額	31	23
法人税等合計	187	31
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,032	△156
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,032	△156

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,032	△156
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	22
繰延ヘッジ損益	2	0
退職給付に係る調整額	6	8
その他の包括利益合計	△20	30
四半期包括利益	1,012	△125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,012	△125
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

- I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,716	917	3,009	10,643	980	11,623	-	11,623
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	12	120	4	138	428	566	(566)	-
計	6,729	1,038	3,013	10,781	1,408	12,189	(566)	11,623
セグメント利益	964	489	0	1,454	63	1,517	(4)	1,513

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)
報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	5,084	839	3,081	9,005	763	9,769	-	9,769
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	123	4	136	437	574	(574)	-
計	5,094	962	3,085	9,142	1,201	10,343	(574)	9,769
セグメント利益又は損失(△)	△362	479	31	148	△21	127	(0)	126

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△0百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 運輸成績

		当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	増減率
輸 送 人 員		千人	千人	%
	定期外	6,535	10,545	△38.0
	定期	16,457	19,879	△17.2
	計	22,993	30,425	△24.4
旅 客 収 入		百万円	百万円	%
	定期外	1,524	2,502	△39.1
	定期	1,887	2,350	△19.7
	計	3,411	4,853	△29.7

(注) 輸送人員は千人未満を、旅客収入は百万円未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。